

令和5年度第1回 脱炭素技術研究会

カットした実物のFCEVを展示し、構造解説します！

欧米、中国等で急速にEVシフトが進んでいます。今後の我が国の産業構造、自動車メーカーの対応など風雲急を告げている国内サプライチェーンについて、最新の国の政策動向や技術動向など、我が国の自動車政策の第一人者である早稲田大学の**大聖名譽教授**を招聘し、御講演いただきます。

第2部では、トヨタ自動車(株)からトヨタの水素社会について御講演いただくとともに、新型FCEVミライをレーザーでカッティングした実物車両を展示して解説していただきます。

【開催日時】令和5年**9月5日**（火）14：00～16：30

【開催場所】ホテルニューオータニ鳥取 鶴の間（鳥取市今町2丁目153番地）

【主催】鳥取県

【定員】100名

【参加料】無料



カットした新型FCEVミライ

プログラム

● 開会挨拶

- 脱炭素技術研究会の概要とプロジェクトについて ■ 鳥取県 産業未来創造課 参事 足立 浩司

● 基調講演

「カーボンニュートラルに向けた次世代自動車技術の動向」



（講師）早稲田大学 名譽教授 **大聖 泰弘 氏**
（だいしょう やすひろ）

◆プロフィール

1976年早稲田大学大学院理工学研究科博士課程修了。1985年より同大学理工学部教授。2014～2016年度に同大学研究院次世代自動車研究機構長を務め、2017年4月から同機構特任研究教授兼名譽教授。

エンジンの燃焼、排気浄化、高効率化、新燃料の利用技術、電気自動車、ハイブリッド車、燃料電池車の製作と性能評価等の研究に取り組む一方、長年にわたって国の自動車排出ガス規制や燃費基準の策定に関わる。2021年より、経産省・国交省「カーボンニュートラルに向けた自動車政策検討会」座長を務める。また、経産省「モビリティ水素官民協議会」座長も務める。

● 講演及びFCEV、燃料電池の構造解説

- トヨタ自動車(株) 水素製品開発部 主査 石黒 文久 氏

（講演テーマ）トヨタが取り組む水素・燃料電池技術によるカーボンニュートラル社会への貢献

（展示物）新型FCEVミライ(カットモデル)、水素カートリッジ、水素タンク(type-IV)、水分分解装置など